

④水道分野の国際貢献の推進

【厚生労働省における国際貢献の取組】

○水道産業国際展開推進事業

平成20年度政府予算(22百万円)

アジアをはじめとする世界の水道の発展に我が国の水道分野が積極的に貢献していくため、「アジア・ゲートウェイ構想」及び「経済成長戦略」に位置づけられている我が国の水道産業の国際展開を、政府として推進するための取組

- 平成20～24年度の5か年間
- アジアとの交流推進(水道市場動向調査、現地セミナー、会合開催等)
水道産業国際展開検討(ケーススタディの実施)
国内体制整備(現地に適した水道技術の検討、国内支援方策の検討)
人材育成(留学・研修終了者とのネットワーク構築)

平成20年度

- 11月中国セミナー&現地調査
- 12月カンボジアセミナー&現地調査
- 12月ベトナム現地調査

○国際機関との連携

- WHO飲料水質ガイドライン第4版作成に向け、WHOに対し活動費を拠出し、専門家会合へ専門家を派遣
- 国立保健医療科学院がコーディネーターとなっているO&Mネットワークに毎年活動費を拠出するとともに短期専門家を派遣し、活動に参画
- WHOが水道に関する制度的枠組みに関する途上国支援を目的に設置したRegNetの会合に専門家を派遣し、ガイダンス文書の作成協力
- 水道に関するISO規格に関し、ISO/TC224における新たなワーキンググループの設置を受け、(社)日本水道協会が国内意見を集約、同規格への反映のため設置した国内対策委員会への参加協力

○二国間会議等

- 平成20年5月 中国と「中国村鎮における水安全供給に対する協力に関する覚書」を締結 ※中国四川大地震の際、全国の水道事業者や水道関連企業に応急給水用資機材等の拠出を呼びかけ復興支援に協力
- 平成20年11月 第2回日韓水道行政会議を東京で開催し、両国政府の水道担当課長と情報交換を実施
- 平成21年3月 第5回日米水道水質管理会議をラスベガスで開催予定